

- 自律 目標に向かって自分自身を律する
- 感謝 思いやりや感謝の気持ちをもつ
- 貢献 地域社会に貢献する態度を養う
- 創造 持続可能な社会の創造に挑戦する

啖啄同群

2022.5.13 第6号



今週は1年生の心電図検診（1年生）、歯科検診（全校生徒）、眼科検診（1年生＋2，3年アンケート抽出者）がありました。児童・生徒の健康に対して、これだけしっかり制度が整えられているのは日本ならではののではないかと思います。実際に調べたことはありませんが、おそらく海外では個人任せになっている国も多いのではないのでしょうか。

都城市は中学校3年生まで、子ども医療費助成制度で歯科治療が月200円でできるそうです。他の市町村と比べても格安です。高校生になったら通常料金になりますのでかなり高額になります。むし歯がある人、見つかった人は今のうちにしっかり治療しましょう。

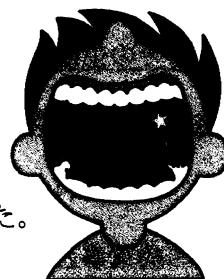
◆◆◆ 口は命の源という話 ◆◆◆

口を清潔にすること、噛むことがいかに大切か。一昔前の実験ですが、1958年の九州大学医学部衛生学神田三郎先生の実験で、福岡県の小学4年生を無作為に120名選出し、虫歯の治療・歯磨きの指導・定期的な検査、一口30回噛むことを家庭の協力を得て規則正しい生活を指導しました。

その結果、実験群の子たちの平均IQが3年後には120という極めて優秀な状態に変化しました。「噛む」「飲み込む」「息をする」行動は、脳幹の大事な機能で、それを使うことによって脳の発達が促されたといえます。

もう一つ大事なのが「線条体」。線条体は脳基底核の一部でやる気にかかわっているところ。やる気のない子は、噛まないから「線条体」が興奮しない。食べ物をよく噛むと、脳の中で「よし、勉強するぞ！」「頑張るぞ！」というやる気が出てきます。

プロ野球選手がガムを噛むのも、精神的な安定だけでなく、やる気を出すためと考えられるそうです。（歯科河原英雄医院院長、医学博士 河原英雄氏）



私は英語が苦手でした。英語の成績を上げたいとは思いましたが、なかなか成績には結びつきませんでした。今と違って外国の方と接する機会もありませんでした。

でも今は・・・インターネットの世界では、扱う言語は99.9%外国語、特に英語です。日本語のHPしか見ていない人はあまり感じないかもしれませんが、実はそうなんです。今の子どもたちが大人になった時、一緒に働くのは多文化共生の中で、外国語が飛び交う世界の人々です。

英語は話せなくても、AIの進化で翻訳機がその代わりを果たしてくれるという人もいます。いずれにしても英語を通して仕事や趣味の幅が広がることは間違いないでしょう。

来週は中間テストです。学ぶ意味を自分に問いながらテスト勉強を頑張りましょう。